

令和7年度 立川市立第八小学校 児童の実態・課題

学校の教育目標	◎よく考え実行する子ども ○心豊かで思いやりのある子ども ○心も体もたくましい子ども
---------	--

教科	各教科における児童の実態（成果）	各教科における課題
国語	○文章構成を考えながら読み取ったり、自分の考えを発表したりすることができている。 ○課題やめあてに正対して、自分の考えを文章で表すことができている。 ○ひらがなや漢字などの文字の学習に意欲的である。	・文章を読むことができて、自分の考えをもったり表現したりすることが苦手な児童がいる。 ・取り組む学習内容によっては課題等に正対した文章を書くことが難しい児童がいる。 ・相手の思いを聞かず自分本位な主張をしたり、自分の思いを伝えることに躊躇したりする傾向がある。
社会	○調べたことを丸写しするだけでなく、要点を絞って端的に書いたり図式化しながらまとめたりできる児童が増えてきた。 ○学習したことをもとに考えをまとめることについても、少しずつできるようになっている。 ○調べたことを自分から発表できるようになってきている。	・資料などから読み取ることはできて、そこから考えられることまで表現できる児童は少ない。 ・学習したことや自分の考えたことを整理してまとめるのに時間がかかる姿が見られる。 ・疑問点などから自分で課題を設定して学習の計画を立てることは不十分な児童が多い。
算数	○具体物を提示したり、図・表・式のよさを体験させたりすることで、数量を整理して正確に立式できるようになってきた。 ○習熟度に応じた手立てを考えた授業展開によって、算数の苦手な児童も楽しみながら授業に臨めるようになってきた。	・特に四則演算に関する既習事項が積み重なっていないことにより、計算に対する苦手意識をもつ児童が多い。 ・文章問題を読み取ることができず、解決までたどり着かない児童が多い。 ・問題に対して試行錯誤して粘り強く取り組むことが苦手な児童が多い。
理科	○観察や実験を行う活動については、意欲的に取り組むことができる。 ○班などで行う観察・実験活動では、友達と協力し合いながら取り組むことができる。	・結果から考察をして、結論を導き出す活動に関しては、児童によって、得意不得意の差が大きい。 ・学習過程の残し方については、得意な児童、不得意な児童で大きな差がある。
生活	○学校探検を通して、身近な人々と関わるよさや楽しさが分かった。 ○学校探検では、相手意識をもって自分たちが伝えたいことを伝えることができていた。 ○校外学習を通して、公共物を大切に扱うことや、公共のマナーについて理解することができた。 ○自分が育てる植物について、成長を楽しみにしながら育てることができ、また、細かな視点をもって観察することができるようになってきた。	・他者意識はあるが、相手に分かりやすく伝えたり、相手と上手く関わったりすることについて考えることが難しい児童がいた。 ・学校や学校の周りにいる人々の存在には気付いているが、自分たちの生活を支えてくれているという実感までには至っていない児童もいる。 ・「みんなで使うものを大切にする」ということを分かっているが、実生活に結びついていない様子が見られるので、毎日の学級指導の中で繰り返し丁寧に指導していく必要がある。
音楽	○音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができてきている。 ○音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようになってきている。 ○課題に対して協力しながら意欲的に取り組むことができる児童が多い。	・身に付けた知識、技能を表現や鑑賞の活動に生かすことが難しい実態がある。 ・音楽の要素を働かせて表現の活動に生かすことが難しい児童がいる。
図画工作	○じっくり作品と向き合い、集中して学習に取り組む姿が見られた。 ○自分の考えやイメージに沿った作品に表現する力が身に付いてきている。 ○工作や立体作品の学習に意欲的に取り組み、創意工夫をして表現する姿が見られた。	・比較的自由的なテーマの学習になると、考えがまとまらなかったり、思い通り表現ができなかったりする姿が見られた。 ・絵の具の扱い等、基本的な技能が定着していない姿も見られるので、既習事項の振り返りを丁寧にしたり、個別指導の時間を設定したりする必要がある。

家庭	<p>○家庭科全般に対する興味・関心が高く積極的に知識、技能を身に付けようとしている。</p> <p>○日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し解決する方法を考えることができる。</p> <p>○家庭の一員として生活をよりよくしようとしている。</p>	<p>・製作題材で、初めて行う手縫いやミシンに対しての技能差がある。</p> <p>・積極的に考えを表現しようとする姿には個人差がある。</p> <p>・家庭から地域へという広がりの中で、自分がかかわっていることを認識し考えようとする姿には個人差がある。</p>
体育	<p>○体育や保健に対する興味・関心が高く、意欲的に学習に取り組むことができる。</p> <p>○多くの学年で体力テストの記録が東京都の平均を上回るようになってきた。日々の外遊びや体育の授業、体力アップ週間の成果が見られている。</p>	<p>・手本となる動きは認識しているが、自己動作認識が不十分で課題の認識にずれが見られる。そのため、自分の動きを動画や写真でしっかり確認し、分解図等と比較をする授業展開を行う。</p> <p>・技能を習得するために必要な練習方法や練習の場を選ぶ力は個人差が見られる。</p>
外国語	<p>○ALT がいることで、意欲的にコミュニケーションを図ろうとしている児童が多く見られた。</p> <p>○チャンツや歌などのリズムやメロディに合わせて発音したり、ALT の発音に触れたりするなどして、外国語に慣れ親しむことができた。</p>	<p>・外国語に慣れ親しむ態度には、個人差がある。</p> <p>・中学校に向けて、四線を意識してアルファベットを書こうとしているが、日常的に使用する場面が少ないので、定着には個人差が見られる。</p>